

日本語表現法Ⅲ
格差社会「第2章」要点まとめ

1 長期不況と失業の増大

1990年から15年続いた長期不況の影響

- ・失業率の上昇 — 格差拡大の要因
- ・「公表失業者」と「潜在失業者」を合わせると、失業率は10%超

2 雇用に広がる格差

非正規労働者の増加

- ・低賃金で雇用が不安定
- ・自ら非正規労働を望む女性や高齢者

正規労働者の問題

- ・サービス残業→雇用の縮小

3 所得分配システムの変容

賃金決定方式の変化：中央集権主義から分権化方式へ

- ・企業間の格差、個人間の格差、中央と地方の所得格差の拡大
- ・年功序列賃金から成果主義賃金へ
- ・労働者間の賃金格差拡大

4 構造改革の何が問題なのか

社会保障給付費を大幅にカット

- ・日本の社会保険給付費 — 先進国中最低水準
- ・さらに給付をカットすれば、格差は拡大し、貧困者の増加

地域間の格差

- ・公共事業の削減→地方の職の減少、
低所得者の増加→地域間の格差の拡大
- ・公共事業に代わる地域支援策が必要

現在の日本

- ・税の累進度の低下
- ・社会保障の負担アップ
- ・世界的にも水準の低いセーフティネット